

## 前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 01 都市づくりビジョンの策定

主管課長職・氏名	都市計画課長 大宮訓召
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	本市で暮らし、働き、学ぶ人などが、いつまでも住み続けたいと思える都市づくりの基本構想や実施計画が市民とともに策定、改正等される状態をめざします。
--	--------------------------------------------------------------------------

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	B	
			55,184	-	-	-	-	0.8	
2	幸福 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	D	
			61.9	-	-	-	-	△14.1	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010100 いつまでも住み続けたいまちづくりの推進 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	B	
			55,184	-	-	-	-	0.8	
2	幸福 04010100 いつまでも住み続けたいまちづくりの推進 地域でつながっていると感じている人の割合 単位 %	37.2	38	40	42	44	45	D	
			35.9	-	-	-	-	△16.7	
3	暮らし 04010200 安全で快適に暮らせる住環境の整備 新規住宅着工数 単位 戸	288	250	250	280	300	300	A	
			308	-	-	-	-	166.7	
4	幸福 04010200 安全で快適に暮らせる住環境の整備 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	D	
			61.9	-	-	-	-	△14.1	
5	暮らし 04010300 ゆとりある憩いの場の形成 人々が集まり活動できる場があると感じている人の割合 単位 %	43	44	44	45	46	47	D	
			41.2	-	-	-	-	△45.0	



## 前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：01 都市づくりビジョンの策定

主管課長職・氏名	都市計画課長 大宮訓召
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>土地利用調査を委託し、都市づくりビジョンや方向性について調査に取り組んでいるが、繰越事業として平成28年度までの委託となりました。</p>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用、土地調査や景観形成とともに、所管施設や住宅の安心安全に努めます。</li> </ul> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所管施設に関する事故等はなく、一定の保全に努めました。</li> <li>・住宅関連施策を実施し、安心安全に努めました。</li> <li>・土地利用、土地調査については、一部繰越事業として継続しております。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
<p>当基本施策に影響する社会環境変化はありません。</p>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用については繰越事業を継続して行い、早期に都市的土地利用に転換できるように取り組みます。</li> <li>・公園施設については自治会等と連携しながら今後のあり方について検討します。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地整備の熟度向上</li> <li>・公園施設の老朽化対策</li> <li>・空き家に対する進め方の検討</li> </ul>	

